

教育学専修

学校教育、社会教育、家庭教育という3つの柱をもとに、
生涯にわたる教育という営みを幅広く見渡せる教員を育てます。

◆ 学びのポイント

1
他人に
変えられるのではなく、
自ら変わるために

教育は子どもの人生に深く関わる営みです。子どもを変えるには、自らを変えなければなりません。そのための知識やスキル(技能)は、教育史や教育基礎(教育原理)の知見に基づいてこそ生きて働くものとなります。



2
広い視野から
個別の教育実践を捉える

教育は、地域や学校に根ざして個別具体的に営まれています。同時に、教育は社会と結び付き、グローバルに動いています。教育社会学やカリキュラム論・教育方法学の観点を通して、客観的かつ自省的に子どもの実態や教育課題を捉えらるとともに、具体的な教育実践の方法論を身につけます。

3
教育をシステムとして捉え、
地域と連携する

教育は真空の中で行われるものではなく、教師の実践は教育システムと地域社会の現実の中で行われるものです。教育経営学や生涯学習論(社会教育学)を通して教育が受けている社会的制約を踏まえつつ、それを乗り越える知恵を修得します。

◆ 学びの領域

教育をその根本まで掘り下げて学ぶ
5つの領域

子どもの発達と教育の関係や、国家・社会と教育の関係を踏まえ、それらの知見を教育の目標・内容・方法に生かせるような教育実践のあり方を科学的に探求し、学びます。



教育学専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限	初等教科教育法(社会)		校外学習指導特講	教育実習事前指導	
3・4時限	書道	初等教科実践指導		教育実習事前指導	生涯教育演習
5・6時限	教育工学演習			教育課程演習	生涯教育文化特講
7・8時限	教育方法学演習	教育人権アプローチ特講		中等教科教育法(国語)	日本文学史I
9・10時限				日本語学概説I	

校外学習指導特講
博物館を視察し、学校外での国際理解教育について学びます。



教育方法学演習
教室環境整備と授業研究に関する演習を通して、教育実践に関する実践的知識と方法を学びます。



教育課程演習
文献の講読や実践例の分析を通して、カリキュラムの基礎理論とその具体例を学びます。

Student's Voice
在学生の声

「教育学専修だからこそ
できる学び」

教育学専修4年生
福田 彩乃さん
(奈良県立平城高等学校出身)



教育学専修では、様々な視点から教育について考えます。社会との関わりなかでの学校や、歴史から見た今の教育、子どもたちにわかりやすい授業の方法など、先生や他の学生と一緒に考え話し合いながら日々学んでいます。様々な視点からたくさんの人と意見交流することで、自分の考えをより深く、視野を広げることができます。また、実際に授業をおこなったり、教室を作ってみたりといった実践的な経験がたくさんできるのも、教育学専修ならではの良いところです。授業で培った考え方や広い視野、実践的な経験は、教育実習やボランティアで訪れた実際の学校現場でもとても役に立ちました。教育学専修ならではの学びで、一緒に先生を目指しましょう。

主な開講科目

教育史特講・演習/教育哲学・思想特講・演習/教育社会学特講・演習/教育経営学特講・演習/教育方法学特講・演習/教育課程特講・演習/生涯教育計画特講I/生涯教育演習/教育人権アプローチ特講・演習/生涯教育史特講/校外学習指導特講/生涯教育政策特講

取得できる免許状
小学校教諭一種 等(19.8.1取得できる免許状・資格のページ参照)

卒業後の主な進路

本専修の卒業生の多数が、学校の先生になっています。主に、小学校の教員ですが、中学校、高等学校や特別支援学校の教員になる人もいます。

教員および専門分野(平成29年5月1日現在)

- 板橋 孝幸准教授/教育史・地域学習論・現代の地域教育運動に関する研究
- 片岡 弘勝教授/生涯学習・社会教育地域づくりと生涯学習・社会教育の関連に関する研究
- 渋谷 真樹教授/教育社会学・異文化間教育多文化社会に生きる子ども達のアイデンティティ形成
- 橋崎 頼子准教授/カリキュラム論・市民性教育・市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究
- 赤沢 早人准教授/教育方法学・教育課程論・教育課程および教育方法に関する研究
- 生田 周二教授/人権教育・社会教育・人権教育・異文化間教育の社会教育的研究